

バイオエレクトロニクスによる 病態モデルの開発と創薬



研究キーワード

薬理学、生理学、バイオエレクトロニクス

薬学部 薬学科
徳富 直史 教授

新規医薬品として、薬の効果を調べるためには「病気」を作る必要があります。それを病態モデルといい、薬の開発で最も予算が必要な工程のひとつです。私の主要なテーマでは、低コストの病態モデル開発をめざし、培養細胞に対して、てんかん様放電や不整脈などの病態電気信号を模倣して供給する装置の開発を行っています。

この研究は将来どんなことに役立ちますか？

実験結果の再現性が良く、労力と経費のかからない病態モデルを実現することは、即、新薬の開発につながります。